

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/08/01		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220590029001	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (E1~E6) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	E1~E6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	souslepont03 gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>教科書は「ルージュ1：トリコロール会話編」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。フランスで日常よく使われる、カフェでの注文の仕方、道の聞き方、買い物の仕方などの会話を学びます。またフランスの観光地、プティック、美術館、カフェ、レストラン、音楽など、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1) フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 2) フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 3) 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。 4) 基本動詞 etre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 5) 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 6) 日本について簡単に説明できるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。		

キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	「ルージュ1：トリコロール会話編」（朝日出版社）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！（先輩のメッセージ）」ここまでは思えない人もいるかもしれませんが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「フランス語ってどんな言葉？」（1） 1）アルファベを発音しよう（1） 2）単語を発音してみよう（1） 3）フランスってどんな国？
第2回	「フランス語ってどんな言葉？」（2） 1）アルファベを発音しよう（2） 2）単語を発音してみよう（2） 3）フランス語で挨拶してみよう
第3回	「自己紹介をしよう」（1） 1）tu と vous ってどう違う？ 2）リエゾンって何？ 3）友達と挨拶をしてみよう
第4回	「自己紹介をしよう」（2） 1）敬語で挨拶をしてみよう 2）別れる時はどう言う？ 3）聞き取りをする
第5回	「走るのきつい...」（1） 1）「～です」の動詞を覚えよう 2）否定文にする 3）ペアレッスンで話してみよう
第6回	「走るのきつい...」（2） 1）形容詞を知る 2）20まで数字を覚えよう 3）学生ですと自己紹介
第7回	「新しい先生だ！」（1） 1）外国人の友達に聞く。どこの国から来たの？ 2）er 動詞を使ってみよう 3）自分が外国人になってグループレッスンしよう
第8回	「新しい先生だ！」（2） 1）何語が話せる？ 2）電話番号を聞き取ろう 3）er 動詞の小テストをする
第9回	「ペットなに飼ってる？」（1） 1）「持っている」を学ぼう 2）持っているものを言ってみよう 3）どんなペットを飼いたい？

第10回	<p>「ペットなに飼ってる？」(2)</p> <p>1) 自分の年を言ってみよう。</p> <p>2) 男性と女性の名詞を知る。</p> <p>3) カフェってどんなところ？</p>
第11回	<p>「こんなところにネコが！」(1)</p> <p>1) ~の上に、~の下に、前置詞を学ぼう</p> <p>2) 冠詞を知る</p> <p>3) どこにある？ペアレッスン</p>
第12回	<p>「こんなところにネコが！」(2)</p> <p>1) 色を学ぼう</p> <p>2) 名詞と色を一致させる。</p> <p>3) どんな色？ペアレッスン</p>
第13回	<p>「練習問題を解いて、フランスの文化について知ろう」</p> <p>1) 練習問題</p> <p>2) フランスの地方はどんなところ？郷土料理は何？</p>
第14回	<p>「洋服を買いに行く」(1)</p> <p>1) 「好き」の動詞を覚える</p> <p>2) 好き, 嫌いを言ってみる</p> <p>3) お店での会話、ペアレッスン</p>
第15回	<p>「洋服を買いに行く」(2)</p> <p>1) どんな quel を知る</p> <p>2) 買い物と一緒にいく？</p> <p>3) メールを書いてみよう</p>
第16回	定期試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220590029002	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (G1~G3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	G1~G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:10~12:40 水曜日12:10~12:40 木曜日12:10~12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>教科書は「ルージュ1:トリコロール会話編」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。フランスで日常よく使われる、カフェでの注文の仕方、道の聞き方、買い物の仕方などの会話を学びます。またフランスの観光地、プティック、美術館、カフェ、レストラン、音楽など、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1) フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 2) フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 3) 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。 4) 基本動詞 etre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 5) 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 6) 日本について簡単に説明できるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。		

キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	「ルージュ1：トリコロール会話編」（朝日出版社）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！（先輩のメッセージ）」ここまでは思えない人もいるかもしれませんが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「フランス語ってどんな言葉？」（1） 1）アルファベを発音しよう（1） 2）単語を発音してみよう（1） 3）フランスってどんな国？
第2回	「フランス語ってどんな言葉？」（2） 1）アルファベを発音しよう（2） 2）単語を発音してみよう（2） 3）フランス語で挨拶してみよう
第3回	「自己紹介をしよう」（1） 1）tu と vous ってどう違う？ 2）リエゾンって何？ 3）友達と挨拶をしてみよう
第4回	「自己紹介をしよう」（2） 1）敬語で挨拶をしてみよう 2）別れる時はどう言う？ 3）聞き取りをする
第5回	「走るのきつい...」（1） 1）「～です」の動詞を覚えよう 2）否定文にする 3）ペアレッスンで話してみよう
第6回	「走るのきつい...」（2） 1）形容詞を知る 2）20まで数字を覚えよう 3）学生ですと自己紹介
第7回	「新しい先生だ！」（1） 1）外国人の友達に聞く。どこの国から来たの？ 2）er 動詞を使ってみよう 3）自分が外国人になってグループレッスンしよう
第8回	「新しい先生だ！」（2） 1）何語が話せる？ 2）電話番号を聞き取ろう 3）er 動詞の小テストをする
第9回	「ペットなに飼ってる？」（1） 1）「持っている」を学ぼう 2）持っているものを言ってみよう 3）どんなペットを飼いたい？

第10回	<p>「ペットなに飼ってる？」(2)</p> <p>1) 自分の年を言ってみよう。</p> <p>2) 男性と女性の名詞を知る。</p> <p>3) カフェってどんなところ？</p>
第11回	<p>「こんなところにネコが！」(1)</p> <p>1) ~の上に、~の下に、前置詞を学ぼう</p> <p>2) 冠詞を知る</p> <p>3) どこにある？ペアレッスン</p>
第12回	<p>「こんなところにネコが！」(2)</p> <p>1) 色を学ぼう</p> <p>2) 名詞と色を一致させる。</p> <p>3) どんな色？ペアレッスン</p>
第13回	<p>「練習問題を解いて、フランスの文化について知ろう」</p> <p>1) 練習問題</p> <p>2) フランスの地方はどんなところ？郷土料理は何？</p>
第14回	<p>「洋服を買いに行く」(1)</p> <p>1) 「好き」の動詞を覚える</p> <p>2) 好き, 嫌いを言ってみる</p> <p>3) お店での会話、ペアレッスン</p>
第15回	<p>「洋服を買いに行く」(2)</p> <p>1) どんな quel を知る</p> <p>2) 買い物と一緒にいく？</p> <p>3) メールを書いてみよう</p>
第16回	定期試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220590029003	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (L(仏2)_F1~F3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L(仏2)_F1~F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:10~12:40 水曜日12:10~12:40 木曜日12:10~12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>教科書は「ルージュ1:トリコロール会話編」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。フランスで日常よく使われる、カフェでの注文の仕方、道の聞き方、買い物の仕方などの会話を学びます。またフランスの観光地、プティック、美術館、カフェ、レストラン、音楽など、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1) フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 2) フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 3) 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。 4) 基本動詞 etre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 5) 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 6) 日本について簡単に説明できるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。		

キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	「ルージュ1：トリコロール会話編」（朝日出版社）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！（先輩のメッセージ）」ここまでは思えない人もいるかもしれませんが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「フランス語ってどんな言葉？」（1） 1）アルファベを発音しよう（1） 2）単語を発音してみよう（1） 3）フランスってどんな国？
第2回	「フランス語ってどんな言葉？」（2） 1）アルファベを発音しよう（2） 2）単語を発音してみよう（2） 3）フランス語で挨拶してみよう
第3回	「自己紹介をしよう」（1） 1）tu と vous ってどう違う？ 2）リエゾンって何？ 3）友達と挨拶をしてみよう
第4回	「自己紹介をしよう」（2） 1）敬語で挨拶をしてみよう 2）別れる時はどう言う？ 3）聞き取りをする
第5回	「走るのきつい...」（1） 1）「～です」の動詞を覚えよう 2）否定文にする 3）ペアレッスンで話してみよう
第6回	「走るのきつい...」（2） 1）形容詞を知る 2）20まで数字を覚えよう 3）学生ですと自己紹介
第7回	「新しい先生だ！」（1） 1）外国人の友達に聞く。どこの国から来たの？ 2）er 動詞を使ってみよう 3）自分が外国人になってグループレッスンしよう
第8回	「新しい先生だ！」（2） 1）何語が話せる？ 2）電話番号を聞き取ろう 3）er 動詞の小テストをする
第9回	「ペットなに飼ってる？」（1） 1）「持っている」を学ぼう 2）持っているものを言ってみよう 3）どんなペットを飼いたい？

第10回	<p>「ペットなに飼ってる？」(2)</p> <p>1) 自分の年を言ってみよう。</p> <p>2) 男性と女性の名詞を知る。</p> <p>3) カフェってどんなところ？</p>
第11回	<p>「こんなところにネコが！」(1)</p> <p>1) ~の上に、~の下に、前置詞を学ぼう</p> <p>2) 冠詞を知る</p> <p>3) どこにある？ペアレッスン</p>
第12回	<p>「こんなところにネコが！」(2)</p> <p>1) 色を学ぼう</p> <p>2) 名詞と色を一致させる。</p> <p>3) どんな色？ペアレッスン</p>
第13回	<p>「練習問題を解いて、フランスの文化について知ろう」</p> <p>1) 練習問題</p> <p>2) フランスの地方はどんなところ？郷土料理は何？</p>
第14回	<p>「洋服を買いに行く」(1)</p> <p>1) 「好き」の動詞を覚える</p> <p>2) 好き、嫌いを言ってみる</p> <p>3) お店での会話、ペアレッスン</p>
第15回	<p>「洋服を買いに行く」(2)</p> <p>1) どんな quel を知る</p> <p>2) 買い物と一緒にいく？</p> <p>3) メールを書いてみよう</p>
第16回	定期試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220590029004	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (T(仏2)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T(仏2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールをする際は を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>教科書は「ルージュ1：トリコロール会話編」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。フランスで日常よく使われる、カフェでの注文の仕方、道の聞き方、買い物の仕方などの会話を学びます。またフランスの観光地、プチック、美術館、カフェ、レストラン、音楽など、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1) フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 2) フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 3) 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。 4) 基本動詞 etre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 5) 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 6) 日本について簡単に説明できるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。		

キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	「ルージュ1：トリコロール会話編」（朝日出版社）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！（先輩のメッセージ）」ここまでは思えない人もいるかもしれませんが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「フランス語ってどんな言葉？」(1) 1) アルファベを発音しよう(1) 2) 単語を発音してみよう(1) 3) フランスってどんな国？
第2回	「フランス語ってどんな言葉？」(2) 1) アルファベを発音しよう(2) 2) 単語を発音してみよう(2) 3) フランス語で挨拶してみよう
第3回	「自己紹介をしよう」(1) 1) tu と vous ってどう違う？ 2) リエゾンって何？ 3) 友達と挨拶をしてみよう
第4回	「自己紹介をしよう」(2) 1) 敬語で挨拶をしてみよう 2) 別れる時はどう言う？ 3) 聞き取りをする
第5回	「走るのきつい...」(1) 1) 「～です」の動詞を覚えよう 2) 否定文にする 3) ペアレッスンで話してみよう
第6回	「走るのきつい...」(2) 1) 形容詞を知る 2) 20まで数字を覚えよう 3) 学生ですと自己紹介
第7回	「新しい先生だ！」(1) 1) 外国人の友達に聞く。どこの国から来たの？ 2) er 動詞を使ってみよう 3) 自分が外国人になってグループレッスンしよう
第8回	「新しい先生だ！」(2) 1) 何語が話せる？ 2) 電話番号を聞き取ろう 3) er 動詞の小テストをする
第9回	「ペットなに飼ってる？」(1) 1) 「持っている」を学ぼう 2) 持ってるものを言ってみよう 3) どんなペットを飼いたい？

第10回	<p>「ペットなに飼ってる？」(2)</p> <p>1) 自分の年を言ってみよう。</p> <p>2) 男性と女性の名詞を知る。</p> <p>3) カフェってどんなところ？</p>
第11回	<p>「こんなところにネコが！」(1)</p> <p>1) ~の上に、~の下に、前置詞を学ぼう</p> <p>2) 冠詞を知る</p> <p>3) どこにある？ペアレッスン</p>
第12回	<p>「こんなところにネコが！」(2)</p> <p>1) 色を学ぼう</p> <p>2) 名詞と色を一致させる。</p> <p>3) どんな色？ペアレッスン</p>
第13回	<p>「練習問題を解いて、フランスの文化について知ろう」</p> <p>1) 練習問題</p> <p>2) フランスの地方はどんなところ？郷土料理は何？</p>
第14回	<p>「洋服を買いに行く」(1)</p> <p>1) 「好き」の動詞を覚える</p> <p>2) 好き、嫌いを言ってみる</p> <p>3) お店での会話、ペアレッスン</p>
第15回	<p>「洋服を買いに行く」(2)</p> <p>1) どんな quel を知る</p> <p>2) 買い物と一緒にいく？</p> <p>3) メールを書いてみよう</p>
第16回	定期試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220590029005	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (L(仏1)_P1・P2_J1~J3_T(仏1)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L(仏1)_P1・P2_J1~J3_T(仏1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:10~12:40 水曜日12:10~12:40 木曜日12:10~12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>教科書は「ルージュ1:トリコロール会話編」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。フランスで日常よく使われる、カフェでの注文の仕方、道の聞き方、買い物の仕方などの会話を学びます。またフランスの観光地、プティック、美術館、カフェ、レストラン、音楽など、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1) フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 2) フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 3) 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。 4) 基本動詞 etre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 5) 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 6) 日本について簡単に説明できるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。		

キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	「ルージュ1：トリコロール会話編」（朝日出版社）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！（先輩のメッセージ）」ここまでは思えない人もいるかもしれませんが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「フランス語ってどんな言葉？」(1) 1) アルファベを発音しよう(1) 2) 単語を発音してみよう(1) 3) フランスってどんな国？
第2回	「フランス語ってどんな言葉？」(2) 1) アルファベを発音しよう(2) 2) 単語を発音してみよう(2) 3) フランス語で挨拶してみよう
第3回	「自己紹介をしよう」(1) 1) tu と vous ってどう違う？ 2) リエゾンって何？ 3) 友達と挨拶をしてみよう
第4回	「自己紹介をしよう」(2) 1) 敬語で挨拶をしてみよう 2) 別れる時はどう言う？ 3) 聞き取りをする
第5回	「走るのきつい...」(1) 1) 「～です」の動詞を覚えよう 2) 否定文にする 3) ペアレッスンで話してみよう
第6回	「走るのきつい...」(2) 1) 形容詞を知る 2) 20まで数字を覚えよう 3) 学生ですと自己紹介
第7回	「新しい先生だ！」(1) 1) 外国人の友達に聞く。どこの国から来たの？ 2) er 動詞を使ってみよう 3) 自分が外国人になってグループレッスンしよう
第8回	「新しい先生だ！」(2) 1) 何語が話せる？ 2) 電話番号を聞き取ろう 3) er 動詞の小テストをする
第9回	「ペットなに飼ってる？」(1) 1) 「持っている」を学ぼう 2) 持っているものを言ってみよう 3) どんなペットを飼いたい？

第10回	<p>「ペットなに飼ってる？」(2)</p> <p>1) 自分の年を言ってみよう。</p> <p>2) 男性と女性の名詞を知る。</p> <p>3) カフェってどんなところ？</p>
第11回	<p>「こんなところにネコが！」(1)</p> <p>1) ~の上に、~の下に、前置詞を学ぼう</p> <p>2) 冠詞を知る</p> <p>3) どこにある？ペアレッスン</p>
第12回	<p>「こんなところにネコが！」(2)</p> <p>1) 色を学ぼう</p> <p>2) 名詞と色を一致させる。</p> <p>3) どんな色？ペアレッスン</p>
第13回	<p>「練習問題を解いて、フランスの文化について知ろう」</p> <p>1) 練習問題</p> <p>2) フランスの地方はどんなところ？郷土料理は何？</p>
第14回	<p>「洋服を買いに行く」(1)</p> <p>1) 「好き」の動詞を覚える</p> <p>2) 好き、嫌いを言ってみる</p> <p>3) お店での会話、ペアレッスン</p>
第15回	<p>「洋服を買いに行く」(2)</p> <p>1) どんな quel を知る</p> <p>2) 買い物と一緒にいく？</p> <p>3) メールを書いてみよう</p>
第16回	定期試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/07/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220590029006	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (M1~M3_K(仏2)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M1~M3_K(仏2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:10~12:40 水曜日12:10~12:40 木曜日12:10~12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>教科書は「ルージュ1:トリコロール会話編」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。フランスで日常よく使われる、カフェでの注文の仕方、道の聞き方、買い物の仕方などの会話を学びます。またフランスの観光地、プティック、美術館、カフェ、レストラン、音楽など、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1) フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 2) フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 3) 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。 4) 基本動詞 etre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 5) 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 6) 日本について簡単に説明できるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。		

キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	「ルージュ1：トリコロール会話編」（朝日出版社）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！（先輩のメッセージ）」ここまでは思えない人もいるかもしれませんが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「フランス語ってどんな言葉？」(1) 1) アルファベを発音しよう(1) 2) 単語を発音してみよう(1) 3) フランスってどんな国？
第2回	「フランス語ってどんな言葉？」(2) 1) アルファベを発音しよう(2) 2) 単語を発音してみよう(2) 3) フランス語で挨拶してみよう
第3回	「自己紹介をしよう」(1) 1) tu と vous ってどう違う？ 2) リエゾンって何？ 3) 友達と挨拶をしてみよう
第4回	「自己紹介をしよう」(2) 1) 敬語で挨拶をしてみよう 2) 別れる時はどう言う？ 3) 聞き取りをする
第5回	「走るのきつい...」(1) 1) 「～です」の動詞を覚えよう 2) 否定文にする 3) ペアレッスンで話してみよう
第6回	「走るのきつい...」(2) 1) 形容詞を知る 2) 20まで数字を覚えよう 3) 学生ですと自己紹介
第7回	「新しい先生だ！」(1) 1) 外国人の友達に聞く。どこの国から来たの？ 2) er 動詞を使ってみよう 3) 自分が外国人になってグループレッスンしよう
第8回	「新しい先生だ！」(2) 1) 何語が話せる？ 2) 電話番号を聞き取ろう 3) er 動詞の小テストをする
第9回	「ペットなに飼ってる？」(1) 1) 「持っている」を学ぼう 2) 持っているものを言ってみよう 3) どんなペットを飼いたい？

第10回	<p>「ペットなに飼ってる？」(2)</p> <p>1) 自分の年を言ってみよう。</p> <p>2) 男性と女性の名詞を知る。</p> <p>3) カフェってどんなところ？</p>
第11回	<p>「こんなところにネコが！」(1)</p> <p>1) ~の上に、~の下に、前置詞を学ぼう</p> <p>2) 冠詞を知る</p> <p>3) どこにある？ペアレッスン</p>
第12回	<p>「こんなところにネコが！」(2)</p> <p>1) 色を学ぼう</p> <p>2) 名詞と色を一致させる。</p> <p>3) どんな色？ペアレッスン</p>
第13回	<p>「練習問題を解いて、フランスの文化について知ろう」</p> <p>1) 練習問題</p> <p>2) フランスの地方はどんなところ？郷土料理は何？</p>
第14回	<p>「洋服を買いに行く」(1)</p> <p>1) 「好き」の動詞を覚える</p> <p>2) 好き、嫌いを言ってみる</p> <p>3) お店での会話、ペアレッスン</p>
第15回	<p>「洋服を買いに行く」(2)</p> <p>1) どんな quel を知る</p> <p>2) 買い物と一緒にいく？</p> <p>3) メールを書いてみよう</p>
第16回	定期試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/07/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220590029007	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (M4~M6_D1・D2_K(仏1)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M4~M6_D1・D2_K(仏1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi_nagasaki-u.ac.jp(メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	eohashi_nagasaki-u.ac.jp(メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:10~12:40 水曜日12:10~12:40 木曜日12:10~12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は「ルージュ1:トリコロール会話編」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。フランスで日常よく使われる、カフェでの注文の仕方、道の聞き方、買い物の仕方などの会話を学びます。またフランスの観光地、プティック、美術館、カフェ、レストラン、音楽など、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	1) フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 2) フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 3) 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。 4) 基本動詞 etre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 5) 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 6) 日本について簡単に説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。		

キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	「ルージュ1：トリコロール会話編」（朝日出版社）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！（先輩のメッセージ）」ここまでは思えない人もいるかもしれませんが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「フランス語ってどんな言葉？」(1) 1) アルファベを発音しよう(1) 2) 単語を発音してみよう(1) 3) フランスってどんな国？
第2回	「フランス語ってどんな言葉？」(2) 1) アルファベを発音しよう(2) 2) 単語を発音してみよう(2) 3) フランス語で挨拶してみよう
第3回	「自己紹介をしよう」(1) 1) tu と vous ってどう違う？ 2) リエゾンって何？ 3) 友達と挨拶をしてみよう
第4回	「自己紹介をしよう」(2) 1) 敬語で挨拶をしてみよう 2) 別れる時はどう言う？ 3) 聞き取りをする
第5回	「走るのきつい...」(1) 1) 「～です」の動詞を覚えよう 2) 否定文にする 3) ペアレッスンで話してみよう
第6回	「走るのきつい...」(2) 1) 形容詞を知る 2) 20まで数字を覚えよう 3) 学生ですと自己紹介
第7回	「新しい先生だ！」(1) 1) 外国人の友達に聞く。どこの国から来たの？ 2) er 動詞を使ってみよう 3) 自分が外国人になってグループレッスンしよう
第8回	「新しい先生だ！」(2) 1) 何語が話せる？ 2) 電話番号を聞き取ろう 3) er 動詞の小テストをする
第9回	「ペットなに飼ってる？」(1) 1) 「持っている」を学ぼう 2) 持っているものを言ってみよう 3) どんなペットを飼いたい？

第10回	<p>「ペットなに飼ってる？」(2)</p> <p>1) 自分の年を言ってみよう。</p> <p>2) 男性と女性の名詞を知る。</p> <p>3) カフェってどんなところ？</p>
第11回	<p>「こんなところにネコが！」(1)</p> <p>1) ~の上に、~の下に、前置詞を学ぼう</p> <p>2) 冠詞を知る</p> <p>3) どこにある？ペアレッスン</p>
第12回	<p>「こんなところにネコが！」(2)</p> <p>1) 色を学ぼう</p> <p>2) 名詞と色を一致させる。</p> <p>3) どんな色？ペアレッスン</p>
第13回	<p>「練習問題を解いて、フランスの文化について知ろう」</p> <p>1) 練習問題</p> <p>2) フランスの地方はどんなところ？郷土料理は何？</p>
第14回	<p>「洋服を買いに行く」(1)</p> <p>1) 「好き」の動詞を覚える</p> <p>2) 好き、嫌いを言ってみる</p> <p>3) お店での会話、ペアレッスン</p>
第15回	<p>「洋服を買いに行く」(2)</p> <p>1) どんな quel を知る</p> <p>2) 買い物と一緒にいく？</p> <p>3) メールを書いてみよう</p>
第16回	定期試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2023/01/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220590031001	科目番号 / Course code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (L(仏2)_F1~F3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	L(仏2)_F1~F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	souslepont03 gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>教教科書は、前期の続きの「ルージュ1：トリコロール会話編」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、フランスで日常よく使われる会話を中心に、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。</p> <p>またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1) 「行く」「来る」「ここはどこ？」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 2) 代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 4) 簡単なメールが書けるようになります。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	「ルージュ：トリコロール会話編」(朝日出版社)		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「規則違反！」（1） 1）「私の」「あなたの」を言ってみよう 2）家族の名称を覚えよう 3）ペアレッスンをしてみよう
第2回	「規則違反！」（2） 1）将来どんな家族が欲しい？ 2）他の人たちが作った家族を聞いてみよう。 3）簡単な詩を読んでみよう
第3回	「クレープを食べますか？」（1） 1）野菜、果物、肉、魚の単語を知ろう 2）「作る、する」の動詞を覚える 3）誘ってみる
第4回	「クレープを食べますか？」（2） 1）「来る」の動詞を覚える 2）OK か断り方を覚える 3）何時ですか？ 3）グループで買い物しよう
第5回	「ミルク飲む？」（1） 1）食べ物、飲み物につく部分冠詞を知る 2）「食べる」の動詞を覚える 3）ペアレッスン
第6回	「ミルク飲む？」（2） 1）「飲む」の動詞を覚える 2）好きな食べ物を教えて 3）グループレッスン 3）練習問題を解く
第7回	「疲れた」（1） 1）時間の表現を覚える 2）prendre を使いこなす 3）フランス語を聞き取ろう
第8回	「疲れた」（2） 1）代名動詞を知ろう 2）1日であることを言ってみよう 3）グループレッスン
第9回	「運がいいね」（1） 1）「行く」を覚える 2）近い未来を言ってみる 3）100まで覚えよう
第10回	「運がいいね」（2） 1）どこに行くの？ 2）住んでる場所を言う 3）ペアレッスン

第11回	<p>「練習問題と買い物の会話を作ろう」</p> <p>1) 練習問題を解く</p> <p>2) グループで役割を決めて会話をしてみよう</p>
第12回	<p>「復習と天気、時刻を言う」(1)</p> <p>1) グループで復習ゲーム</p> <p>2) クラスメイトに質問しよう</p> <p>3) この人はどんな人?</p>
第13回	<p>「復習と天気、時刻を言う」(2)</p> <p>1) どんな天気?</p> <p>2) 暑い、寒いの表現を知る</p> <p>3) 何時ですか?</p>
第14回	<p>「遅く帰った」(1)</p> <p>1) avoir を使った過去形を作ろう</p> <p>2) 昨日なにをしたの?</p> <p>3) ペアレッスン</p>
第15回	<p>「遅く帰った」(2)</p> <p>1) être を使った過去形を作ろう</p> <p>2) 代名動詞の過去形は?</p> <p>3) 自由に会話をしてみよう</p>
第16回	定期試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2023/01/24		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220590031002	科目番号 / Course code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (G1~G3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	G1~G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:10~12:40 水曜日12:10~12:40 木曜日12:10~12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>教科書は、前期の続きの「ルージュ1:トリコロール会話編」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、フランスで日常よく使われる会話を中心に、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。</p> <p>またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1) 「行く」「来る」「ここはどこ?」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 2) 代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 4) 簡単なメールが書けるようになります。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	「ルージュ:トリコロール会話編」(朝日出版社)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「規則違反！」（1） 1）「私の」「あなたの」を言ってみよう 2）家族の名称を覚えよう 3）ペアレッスンをしてみよう
第2回	「規則違反！」（2） 1）将来どんな家族が欲しい？ 2）他の人たちが作った家族を聞いてみよう。 3）簡単な詩を読んでみよう
第3回	「クレープを食べますか？」（1） 1）野菜、果物、肉、魚の単語を知ろう 2）「作る、する」の動詞を覚える 3）誘ってみる
第4回	「クレープを食べますか？」（2） 1）「来る」の動詞を覚える 2）OK か断り方を覚える 3）何時ですか？ 3）グループで買い物しよう
第5回	「ミルク飲む？」（1） 1）食べ物、飲み物につく部分冠詞を知る 2）「食べる」の動詞を覚える 3）ペアレッスン
第6回	「ミルク飲む？」（2） 1）「飲む」の動詞を覚える 2）好きな食べ物を教えて 3）グループレッスン 3）練習問題を解く
第7回	「疲れた」（1） 1）時間の表現を覚える 2）prendre を使いこなす 3）フランス語を聞き取ろう
第8回	「疲れた」（2） 1）代名動詞を知ろう 2）1日であることを言ってみよう 3）グループレッスン
第9回	「運がいいね」（1） 1）「行く」を覚える 2）近い未来を言ってみる 3）100まで覚えよう
第10回	「運がいいね」（2） 1）どこに行くの？ 2）住んでる場所を言う 3）ペアレッスン

第11回	<p>「練習問題と買い物の会話を作ろう」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 練習問題を解く 2) グループで役割を決めて会話をしてみよう
第12回	<p>「復習と天気、時刻を言う」(1)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) グループで復習ゲーム 2) クラスメートに質問しよう 3) この人はどんな人?
第13回	<p>「復習と天気、時刻を言う」(2)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) どんな天気? 2) 暑い、寒いの表現を知る 3) 何時ですか?
第14回	<p>「遅く帰った」(1)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) avoir を使った過去形を作ろう 2) 昨日なにをしたの? 3) ペアレッスン
第15回	<p>「遅く帰った」(2)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) être を使った過去形を作ろう 2) 代名動詞の過去形は? 3) 自由に会話をしてみよう
第16回	定期試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2023/01/24		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220590031003	科目番号 / Course code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (E1~E6) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	E1~E6		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL / Tel	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日12:10~12:40 水曜日12:10~12:40 木曜日12:10~12:40		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>教科書は、前期の続きの「ルージュ1:トリコロール会話編」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、フランスで日常よく使われる会話を中心に、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。</p> <p>またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1) 「行く」「来る」「ここはどこ?」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 2) 代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 4) 簡単なメールが書けるようになります。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	「ルージュ:トリコロール会話編」(朝日出版社)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「規則違反！」（1） 1）「私の」「あなたの」を言ってみよう 2）家族の名称を覚えよう 3）ペアレッスンをしてみよう
第2回	「規則違反！」（2） 1）将来どんな家族が欲しい？ 2）他の人たちが作った家族を聞いてみよう。 3）簡単な詩を読んでみよう
第3回	「クレープを食べますか？」（1） 1）野菜、果物、肉、魚の単語を知ろう 2）「作る、する」の動詞を覚える 3）誘ってみる
第4回	「クレープを食べますか？」（2） 1）「来る」の動詞を覚える 2）OK か断り方を覚える 3）何時ですか？ 3）グループで買い物しよう
第5回	「ミルク飲む？」（1） 1）食べ物、飲み物につく部分冠詞を知る 2）「食べる」の動詞を覚える 3）ペアレッスン
第6回	「ミルク飲む？」（2） 1）「飲む」の動詞を覚える 2）好きな食べ物を教えて 3）グループレッスン 3）練習問題を解く
第7回	「疲れた」（1） 1）時間の表現を覚える 2）prendre を使いこなす 3）フランス語を聞き取ろう
第8回	「疲れた」（2） 1）代名動詞を知ろう 2）1日であることを言ってみよう 3）グループレッスン
第9回	「運がいいね」（1） 1）「行く」を覚える 2）近い未来を言ってみる 3）100まで覚えよう
第10回	「運がいいね」（2） 1）どこに行くの？ 2）住んでる場所を言う 3）ペアレッスン

第11回	<p>「練習問題と買い物の会話を作ろう」</p> <p>1) 練習問題を解く</p> <p>2) グループで役割を決めて会話をしてみよう</p>
第12回	<p>「復習と天気、時刻を言う」(1)</p> <p>1) グループで復習ゲーム</p> <p>2) クラスメイトに質問しよう</p> <p>3) この人はどんな人?</p>
第13回	<p>「復習と天気、時刻を言う」(2)</p> <p>1) どんな天気?</p> <p>2) 暑い、寒い表現を知る</p> <p>3) 何時ですか?</p>
第14回	<p>「遅く帰った」(1)</p> <p>1) avoir を使った過去形を作ろう</p> <p>2) 昨日なにをしたの?</p> <p>3) ペアレッスン</p>
第15回	<p>「遅く帰った」(2)</p> <p>1) être を使った過去形を作ろう</p> <p>2) 代名動詞の過去形は?</p> <p>3) 自由に会話をしてみよう</p>
第16回	定期試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2023/01/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220590031004	科目番号 / Course code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (T(仏2)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	T(仏2)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールをする際は を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前にアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>教科書は、前期の続きの「ルージュ1：トリコロール会話編」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、フランスで日常よく使われる会話を中心に、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。</p> <p>またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1) 「行く」「来る」「ここはどこ?」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 2) 代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 4) 簡単なメールが書けるようになります。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	「ルージュ：トリコロール会話編」(朝日出版社)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「規則違反！」（1） 1）「私の」「あなたの」を言ってみよう 2）家族の名称を覚えよう 3）ペアレッスンをしてみよう
第2回	「規則違反！」（2） 1）将来どんな家族が欲しい？ 2）他の人たちが作った家族を聞いてみよう。 3）簡単な詩を読んでみよう
第3回	「クレープを食べますか？」（1） 1）野菜、果物、肉、魚の単語を知ろう 2）「作る、する」の動詞を覚える 3）誘ってみる
第4回	「クレープを食べますか？」（2） 1）「来る」の動詞を覚える 2）OK か断り方を覚える 3）何時ですか？ 3）グループで買い物しよう
第5回	「ミルク飲む？」（1） 1）食べ物、飲み物につく部分冠詞を知る 2）「食べる」の動詞を覚える 3）ペアレッスン
第6回	「ミルク飲む？」（2） 1）「飲む」の動詞を覚える 2）好きな食べ物を教えて 3）グループレッスン 3）練習問題を解く
第7回	「疲れた」（1） 1）時間の表現を覚える 2）prendre を使いこなす 3）フランス語を聞き取ろう
第8回	「疲れた」（2） 1）代名動詞を知ろう 2）1日であることを言ってみよう 3）グループレッスン
第9回	「運がいいね」（1） 1）「行く」を覚える 2）近い未来を言ってみる 3）100まで覚えよう
第10回	「運がいいね」（2） 1）どこに行くの？ 2）住んでる場所を言う 3）ペアレッスン

第11回	<p>「練習問題と買い物の会話を作ろう」</p> <p>1) 練習問題を解く</p> <p>2) グループで役割を決めて会話をしてみよう</p>
第12回	<p>「復習と天気、時刻を言う」(1)</p> <p>1) グループで復習ゲーム</p> <p>2) クラスメイトに質問しよう</p> <p>3) この人はどんな人?</p>
第13回	<p>「復習と天気、時刻を言う」(2)</p> <p>1) どんな天気?</p> <p>2) 暑い、寒いの表現を知る</p> <p>3) 何時ですか?</p>
第14回	<p>「遅く帰った」(1)</p> <p>1) avoir を使った過去形を作ろう</p> <p>2) 昨日なにをしたの?</p> <p>3) ペアレッスン</p>
第15回	<p>「遅く帰った」(2)</p> <p>1) être を使った過去形を作ろう</p> <p>2) 代名動詞の過去形は?</p> <p>3) 自由に会話をしてみよう</p>
第16回	定期試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2023/01/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220590031005	科目番号 / Course code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (L(仏1)_P1・P2_J1~J3_T(仏1)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	L(仏1)_P1・P2_J1~J3_T(仏1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	eohashi nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:10~12:40 水曜日12:10~12:40 木曜日12:10~12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>教科書は、前期の続きの「ルージュ1:トリコロール会話編」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、フランスで日常よく使われる会話を中心に、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。</p> <p>またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1) 「行く」「来る」「ここはどこ?」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 2) 代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 4) 簡単なメールが書けるようになります。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	「ルージュ:トリコロール会話編」(朝日出版社)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「規則違反！」（1） 1）「私の」「あなたの」を言ってみよう 2）家族の名称を覚えよう 3）ペアレッスンをしてみよう
第2回	「規則違反！」（2） 1）将来どんな家族が欲しい？ 2）他の人たちが作った家族を聞いてみよう。 3）簡単な詩を読んでみよう
第3回	「クレープを食べますか？」（1） 1）野菜、果物、肉、魚の単語を知ろう 2）「作る、する」の動詞を覚える 3）誘ってみる
第4回	「クレープを食べますか？」（2） 1）「来る」の動詞を覚える 2）OK か断り方を覚える 3）何時ですか？ 3）グループで買い物しよう
第5回	「ミルク飲む？」（1） 1）食べ物、飲み物につく部分冠詞を知る 2）「食べる」の動詞を覚える 3）ペアレッスン
第6回	「ミルク飲む？」（2） 1）「飲む」の動詞を覚える 2）好きな食べ物を教えて 3）グループレッスン 3）練習問題を解く
第7回	「疲れた」（1） 1）時間の表現を覚える 2）prendre を使いこなす 3）フランス語を聞き取ろう
第8回	「疲れた」（2） 1）代名動詞を知ろう 2）1日であることを言ってみよう 3）グループレッスン
第9回	「運がいいね」（1） 1）「行く」を覚える 2）近い未来を言ってみる 3）100まで覚えよう
第10回	「運がいいね」（2） 1）どこに行くの？ 2）住んでる場所を言う 3）ペアレッスン

第11回	<p>「練習問題と買い物の会話を作ろう」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 練習問題を解く 2) グループで役割を決めて会話をしてみよう
第12回	<p>「復習と天気、時刻を言う」(1)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) グループで復習ゲーム 2) クラスメートに質問しよう 3) この人はどんな人?
第13回	<p>「復習と天気、時刻を言う」(2)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) どんな天気? 2) 暑い、寒いの表現を知る 3) 何時ですか?
第14回	<p>「遅く帰った」(1)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) avoir を使った過去形を作ろう 2) 昨日なにをしたの? 3) ペアレッスン
第15回	<p>「遅く帰った」(2)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) être を使った過去形を作ろう 2) 代名動詞の過去形は? 3) 自由に会話をしてみよう
第16回	定期試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2023/01/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220590031006	科目番号 / Course code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (M1~M3_K(仏2)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	M1~M3_K(仏2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:10~12:40 水曜日12:10~12:40 木曜日12:10~12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>教科書は、前期の続きの「ルージュ1:トリコロール会話編」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、フランスで日常よく使われる会話を中心に、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。</p> <p>またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1) 「行く」「来る」「ここはどこ?」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 2) 代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 4) 簡単なメールが書けるようになります。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	「ルージュ:トリコロール会話編」(朝日出版社)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「規則違反！」（1） 1）「私の」「あなたの」を言ってみよう 2）家族の名称を覚えよう 3）ペアレッスンをしてみよう
第2回	「規則違反！」（2） 1）将来どんな家族が欲しい？ 2）他の人たちが作った家族を聞いてみよう。 3）簡単な詩を読んでみよう
第3回	「クレープを食べますか？」（1） 1）野菜、果物、肉、魚の単語を知ろう 2）「作る、する」の動詞を覚える 3）誘ってみる
第4回	「クレープを食べますか？」（2） 1）「来る」の動詞を覚える 2）OK か断り方を覚える 3）何時ですか？ 3）グループで買い物しよう
第5回	「ミルク飲む？」（1） 1）食べ物、飲み物につく部分冠詞を知る 2）「食べる」の動詞を覚える 3）ペアレッスン
第6回	「ミルク飲む？」（2） 1）「飲む」の動詞を覚える 2）好きな食べ物を教えて 3）グループレッスン 3）練習問題を解く
第7回	「疲れた」（1） 1）時間の表現を覚える 2）prendre を使いこなす 3）フランス語を聞き取ろう
第8回	「疲れた」（2） 1）代名動詞を知ろう 2）1日であることを言ってみよう 3）グループレッスン
第9回	「運がいいね」（1） 1）「行く」を覚える 2）近い未来を言ってみる 3）100まで覚えよう
第10回	「運がいいね」（2） 1）どこに行くの？ 2）住んでる場所を言う 3）ペアレッスン

第11回	<p>「練習問題と買い物の会話を作ろう」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 練習問題を解く 2) グループで役割を決めて会話をしてみよう
第12回	<p>「復習と天気、時刻を言う」(1)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) グループで復習ゲーム 2) クラスメイトに質問しよう 3) この人はどんな人?
第13回	<p>「復習と天気、時刻を言う」(2)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) どんな天気? 2) 暑い、寒い表現を知る 3) 何時ですか?
第14回	<p>「遅く帰った」(1)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) avoir を使った過去形を作ろう 2) 昨日なにをしたの? 3) ペアレッスン
第15回	<p>「遅く帰った」(2)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) être を使った過去形を作ろう 2) 代名動詞の過去形は? 3) 自由に会話をしてみよう
第16回	定期試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2023/01/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220590031007	科目番号 / Course code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (M4~M6_D1・D2_K(仏1)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M4~M6_D1・D2_K(仏1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi_nagasaki-u.ac.jp(メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	eohashi_nagasaki-u.ac.jp(メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:10~12:40 水曜日12:10~12:40 木曜日12:10~12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>教科書は、前期の続きの「ルージュ1:トリコロール会話編」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、フランスで日常よく使われる会話を中心に、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。</p> <p>またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1) 「行く」「来る」「ここはどこ?」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 2) 代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 4) 簡単なメールが書けるようになります。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	「ルージュ:トリコロール会話編」(朝日出版社)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「規則違反！」（1） 1）「私の」「あなたの」を言ってみよう 2）家族の名称を覚えよう 3）ペアレッスンをしてみよう
第2回	「規則違反！」（2） 1）将来どんな家族が欲しい？ 2）他の人たちが作った家族を聞いてみよう。 3）簡単な詩を読んでみよう
第3回	「クレープを食べますか？」（1） 1）野菜、果物、肉、魚の単語を知ろう 2）「作る、する」の動詞を覚える 3）誘ってみる
第4回	「クレープを食べますか？」（2） 1）「来る」の動詞を覚える 2）OK か断り方を覚える 3）何時ですか？ 3）グループで買い物しよう
第5回	「ミルク飲む？」（1） 1）食べ物、飲み物につく部分冠詞を知る 2）「食べる」の動詞を覚える 3）ペアレッスン
第6回	「ミルク飲む？」（2） 1）「飲む」の動詞を覚える 2）好きな食べ物を教えて 3）グループレッスン 3）練習問題を解く
第7回	「疲れた」（1） 1）時間の表現を覚える 2）prendre を使いこなす 3）フランス語を聞き取ろう
第8回	「疲れた」（2） 1）代名動詞を知ろう 2）1日であることを言ってみよう 3）グループレッスン
第9回	「運がいいね」（1） 1）「行く」を覚える 2）近い未来を言ってみる 3）100まで覚えよう
第10回	「運がいいね」（2） 1）どこに行くの？ 2）住んでる場所を言う 3）ペアレッスン

第11回	<p>「練習問題と買い物の会話を作ろう」</p> <p>1) 練習問題を解く</p> <p>2) グループで役割を決めて会話をしてみよう</p>
第12回	<p>「復習と天気、時刻を言う」(1)</p> <p>1) グループで復習ゲーム</p> <p>2) クラスメイトに質問しよう</p> <p>3) この人はどんな人?</p>
第13回	<p>「復習と天気、時刻を言う」(2)</p> <p>1) どんな天気?</p> <p>2) 暑い、寒いの表現を知る</p> <p>3) 何時ですか?</p>
第14回	<p>「遅く帰った」(1)</p> <p>1) avoir を使った過去形を作ろう</p> <p>2) 昨日なにをしたの?</p> <p>3) ペアレッスン</p>
第15回	<p>「遅く帰った」(2)</p> <p>1) être を使った過去形を作ろう</p> <p>2) 代名動詞の過去形は?</p> <p>3) 自由に会話をしてみよう</p>
第16回	定期試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/07/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220590033001	科目番号 / Course code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (2G1~2G3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2G1 ~ 2G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟1階		
担当教員TEL/Tel	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:10 - 12:40 水曜日 12:10 - 12:40 木曜日 12:10 - 12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書"Moi, je...コミュニケーション"をフランス語 に引き続き使用し、楽しみながらフランス語で自己表現できるようになることを目的にしています。自分自身のことや家族について話したり尋ねたりするための日常的コミュニケーションの習得が中心ですが、実際フランスに行ったとき役に立つ実用会話も併せて学習します。 教科書に沿った言語の学習だけでなく、インターネット、映画、音楽など生のフランス語資料をしばしば使い、フランスの文化や社会に関心を持って理解を深めることで、言語学習への意欲が高まることを目指しています。		
授業到達目標/Course goals	フランス語 が終わった段階でヨーロッパ言語共通参照枠A 1レベルに到達することを目標にしています。全ての学習内容は欧州評議会により策定された言語運用能力の指針に従って選定されています。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験の成績50%、小テスト20%、課題10%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回)次の時間にその小テストをします。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	教科書 "Moi, je...コミュニケーション" (アルマ出版)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	L'appétit vient en mangeant. (「食べているうちに食欲が湧いてくる」フランスの諺) わかってくると、興味倍増。やればやるほど面白くなる。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「どんな家事する？」(1) 1) faire(する)の活用を覚える 2) 所有形容詞「私の」「あなたの」は英語とどう違う？ 3) 家では誰が料理をする？(疑問代名詞qui)
第2回	「どんな家事する？」(2) 1) …するのは私(君・私の母/両親)です 2) 家族,の単語を覚える 3) ペアレッスン
第3回	「どんな家族？」(1) 1) 家族について話そう 2) 1~20を覚える 3) フランス語で足し算引き算
第4回	「どんな家族？」(2) 1) 20~60を覚える 2) 何歳ですか？ 3) 自分と家族について書いてみよう
第5回	「どんな家族？」(3) 1) マルシェを知ろう 2) 家族でマルシェへ行く 3) グループワーク
第6回	Activité 1「道を聞こう」(1) 1) 道順を尋ねよう 2) 街の中にあるいろいろな場所を言おう 3) ペアレッスン
第7回	Activité 1「道を聞こう」(2) 1) パリの名所を地図上でチェック 2) リスニング 3) ある場所への行き方を説明する文を書こう
第8回	「クラブ活動について話そう」(1) 1) 動詞faire(する)を覚える 2) 「クラブ活動してる？」 3) クラブ活動の言葉を覚えよう
第9回	「クラブ活動について話そう」(2) 1) …のメンバーです 2) リスニング 3) ペアレッスン
第10回	「どんな習慣がある？」(1) 1) よくする、時々する 2) チョコレート好き？ 3) 食べ物の習慣を言おう
第11回	「どんな習慣がある？」(2) 1) 否定の質問に肯定で答えよう「いいえ、…です(します)」, 2) 「よく…する？」 3) 部分冠詞・不定冠詞と定冠詞を使い分けよう

第12回	<p>「どんな習慣がある？」(3)</p> <p>1) リスニングをしよう</p> <p>2) グループワーク</p> <p>3) 小テスト</p>
第13回	<p>Activité 2「レストランで注文しよう」(1)</p> <p>1) 冠詞の復習をする</p> <p>2) 注文の会話をしよう「何にする？」</p> <p>3) レストランのメニューを知ろう</p>
第14回	<p>Activité 2「レストランで注文しよう」(2)</p> <p>1) 実際のメニューを読んでみる</p> <p>2) リスニング, をする</p> <p>3) ペアレッスン(ウェイターと客)</p>
第15回	前期の復習
第16回	前期試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/09/25		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220590033002	科目番号 / Course code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (再履修) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	再履修		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部棟1階		
担当教員TEL / Tel	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日 12:10 - 12:40 水曜日 12:10 - 12:40 木曜日 12:10 - 12:40		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	教科書 "Moi, je... コミュニケーション" をフランス語 に引き続き使用し、楽しみながらフランス語で自己表現できるようになることを目的にしています。自分自身のことや家族について話したり尋ねたりするための日常的コミュニケーションの習得が中心ですが、実際フランスに行ったとき役に立つ実用会話も併せて学習します。 教科書に沿った言語の学習だけでなく、インターネット、映画、音楽など生のフランス語資料をしばしば使い、フランスの文化や社会に関心を持って理解を深めることで、言語学習への意欲が高まることを目指しています。		
授業到達目標 / Course goals	フランス語 が終わった段階でヨーロッパ言語共通参照枠 A 1 レベルに到達することを目標にしています。全ての学習内容は欧州評議会により策定された言語運用能力の指針に従って選定されています。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験の成績50%、小テスト20%、課題10%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書 "Moi, je... コミュニケーション" (アルマ出版)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	L'appétit vient en mangeant. (「食べているうちに食欲が湧いてくる」フランスの諺) わかってくると、興味倍増。やればやるほど面白くなる。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「どんな家事する？」(1) 1) faire(する)の活用を覚える 2) 所有形容詞「私の」「あなたの」は英語とどう違う？ 3) 家では誰が料理をする？(疑問代名詞qui)
第2回	「どんな家事する？」(2) 1) …するのは私(君・私の母/両親)です 2) 家族,の単語を覚える 3) ペアレッスン
第3回	「どんな家族？」(1) 1) 家族について話そう 2) 1～20を覚える 3) フランス語で足し算引き算
第4回	「どんな家族？」(2) 1) 20～60を覚える 2) 何歳ですか？ 3) 自分と家族について書いてみよう
第5回	「どんな家族？」(3) 1) マルシェを知ろう 2) 家族でマルシェへ行く 3) グループワーク
第6回	Activité 1「道を聞こう」(1) 1) 道順を尋ねよう 2) 街の中にあるいろいろな場所を言おう 3) ペアレッスン
第7回	Activité 1「道を聞こう」(2) 1) パリの名所を地図上でチェック 2) リスニング 3) ある場所への行き方を説明する文を書こう
第8回	「クラブ活動について話そう」(1) 1) 動詞faire(する)を覚える 2) 「クラブ活動してる？」 3) クラブ活動の言葉を覚えよう
第9回	「クラブ活動について話そう」(2) 1) …のメンバーです 2) リスニング 3) ペアレッスン
第10回	「どんな習慣がある？」(1) 1) よくする、時々する 2) チョコレート好き？ 3) 食べ物の習慣を言おう
第11回	「どんな習慣がある？」(2) 1) 否定の質問に肯定で答えよう「いいえ、…です(します)」, 2) 「よく…する？」 3) 部分冠詞・不定冠詞と定冠詞を使い分けよう

第12回	<p>「どんな習慣がある？」(3)</p> <p>1) リスニングをしよう</p> <p>2) グループワーク</p> <p>3) 小テスト</p>
第13回	<p>Activité 2「レストランで注文しよう」(1)</p> <p>1) 冠詞の復習をする</p> <p>2) 注文の会話をしよう「何にする？」</p> <p>3) レストランのメニューを知ろう</p>
第14回	<p>Activité 2「レストランで注文しよう」(2)</p> <p>1) 実際のメニューを読んでみる</p> <p>2) リスニング, をする</p> <p>3) ペアレッスン(ウェイターと客)</p>
第15回	前期の復習
第16回	前期試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2023/01/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220590035001	科目番号 / Course code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (2G1~2G3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2G1~2G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟1階		
担当教員TEL/Tel	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:10 - 12:40 水曜日 12:10 - 12:40 木曜日 12:10 - 12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は<Moi, je>を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。フランスで日常よく使われる会話を楽しく学んでいきましょう。また、パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。フランス語を学習する2年目の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活で必要な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	フランス語 が終わった段階でヨーロッパ言語共通参照枠 A 1 レベルに到達することを目標としています。全ての学習内容は欧州評議会により策定された言語運用能力の指針に従って選定されています。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	教科書:「モワ、ジュ コミュニケーション」(アルマ出版) 参考書: 仏和辞典(「デイリーコンサイズ仏和・和仏辞典を薦めます。生協にあります)または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「週末の過ごし方について話す」(1) 1) 近接未来 2) 近い未来のことを表現する(その1)
第2回	「週末の過ごし方について話す」(2) 1) 近い未来のことを表現する(その2) 2) リスニング 3) ペアレッスン
第3回	「時間について話す」(1) 1) 動詞partir 2) 時間の言い方(その1)
第4回	「時間について話す」(2) 1) 時間の言い方(その2) 2) リスニング 3) ペアレッスン
第5回	「休暇中の活動について話す」(1) 1) 複合過去形の活用 2) 複合過去形を使った表現(その1)
第6回	「休暇中の活動について話す」(2) 1) 複合過去形を使った表現(その2) 2) リスニング 3) ペアレッスン
第7回	「経験について話す」(1) 1) 場所と時間の新しい表現 2) 自分の経験について話す(その1)
第8回	「経験について話す」(2) 1) 自分の経験について話す(その2) 2) リスニング 3) ペアレッスン
第9回	「地理について話す」(1) 1) 国名の表現 2) 場所についての表現(その1)
第10回	「地理について話す」(2) 1) 場所についての表現(その2) 2) リスニング 3) ペアレッスン
第11回	「天候について話す」(1) 1) 天候の表現 2) 天候の表現を使った会話(その1)
第12回	「天候について話す」(2) 1) 天候の表現を使った会話(その2) 2) リスニング 3) ペアレッスン

第13回	「過去について話す」(1) 1) 半過去形の活用 2) 半過去形を使った表現(その1)
第14回	「過去について話す」(2) 1) 半過去形を使った表現(その2) 2) リスニング 3) ペアレッスン
第15回	「買い物をする」 1) 買い物のための表現 2) 数量と値段の表現
第16回	後期試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2022/09/26 ~ 2023/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20220590035002	科目番号 / Course code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (再履修) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	再履修		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部棟1階		
担当教員TEL / Tel	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日 12:10 - 12:40 水曜日 12:10 - 12:40 木曜日 12:10 - 12:40		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	教科書は<Moi, je>を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。フランスで日常よく使われる会話を楽しく学んでいきましょう。また、パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。フランス語を学習する2年目の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活で必要な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標 / Course goals	フランス語 が終わった段階でヨーロッパ言語共通参照枠 A 1 レベルに到達することを目標としています。全ての学習内容は欧州評議会により策定された言語運用能力の指針に従って選定されています。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書: 「モワ、ジュ コミュニケーション」 (アルマ出版) 参考書: 仏和辞典 (「デイリーコンサイズ仏和・和仏辞典を薦めます。生協にあります) または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「週末の過ごし方について話す」(1) 1) 近接未来 2) 近い未来のことを表現する(その1)
第2回	「週末の過ごし方について話す」(2) 1) 近い未来のことを表現する(その2) 2) リスニング 3) ペアレッスン
第3回	「時間について話す」(1) 1) 動詞partir 2) 時間の言い方(その1)
第4回	「時間について話す」(2) 1) 時間の言い方(その2) 2) リスニング 3) ペアレッスン
第5回	「休暇中の活動について話す」(1) 1) 複合過去形の活用 2) 複合過去形を使った表現(その1)
第6回	「休暇中の活動について話す」(2) 1) 複合過去形を使った表現(その2) 2) リスニング 3) ペアレッスン
第7回	「経験について話す」(1) 1) 場所と時間の新しい表現 2) 自分の経験について話す(その1)
第8回	「経験について話す」(2) 1) 自分の経験について話す(その2) 2) リスニング 3) ペアレッスン
第9回	「地理について話す」(1) 1) 国名の表現 2) 場所についての表現(その1)
第10回	「地理について話す」(2) 1) 場所についての表現(その2) 2) リスニング 3) ペアレッスン
第11回	「天候について話す」(1) 1) 天候の表現 2) 天候の表現を使った会話(その1)
第12回	「天候について話す」(2) 1) 天候の表現を使った会話(その2) 2) リスニング 3) ペアレッスン

第13回	「過去について話す」(1) 1) 半過去形の活用 2) 半過去形を使った表現(その1)
第14回	「過去について話す」(2) 1) 半過去形を使った表現(その2) 2) リスニング 3) ペアレッスン
第15回	「買い物をする」 1) 買い物のための表現 2) 数量と値段の表現
第16回	後期試験